

第3回 アジア市場経済学会・東アジア地域研究会合同研究会

日時：2014年3月8日（土） 午前9時～午後5時

場所：同志社大学今出川キャンパス 至誠館3階会議室

プログラム

主催者挨拶（9：15～9：25）：植村泰夫（東アジア地域研究会・代表）

自由論題の部（9：30～11：05）

司会：近藤和明（広島修道大学）

報告1：金子由芳（神戸大学）（9：30～10：15）

「ミャンマー法の経緯・現状と法整備支援の課題」（仮）

報告2：小林 守（専修大学）（10：20～11：05）

「日本の対ミャンマー援助の原点—1960年代～80年代における工業化4プロジェクト」

特別講演（11：10～12：00）

田島高志（元カナダ、ミャンマー大使）

「日本の対ミャンマー政策の歴史と現状」

休憩（12：00～13：00）

※ この間、アジア市場経済学会および東アジア地域研究会は運営委員会を開催

シンポジウムの部（13：00～17：00）

テーマ：「現代ミャンマーの政治・経済」

司会：津守 滋（立命館アジア太平洋大学）

報告1 根本 敬（上智大学）（13：10～13：40）

「変化を阻害する排他的ナショナリズム—「国民」の定義をめぐる歴史的背景」

報告2 西澤信善（近畿大学）（13：40～14：10）

「ミャンマー経済の潮流変化」

コメンテーター：西口清勝（立命館大学）

コーヒー・ブレイク（14：10～14：30）

総合討論：（14：30～16：30）

パネリスト：田島高志（元カナダ、ミャンマー大使）、根本 敬（上智大学）、

西澤信善（近畿大学）、西口清勝（立命館大学）

まとめと閉会の辞（16：30～16：40）：村松潤一（アジア市場経済学会・会長）